

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0800127	2008/11/05	2010/11/5	石油ふろがま用バーナー	釜の焚き口から出火した。現在、原因を調査中。	火災		大分県	調査の結果、消費者が自らふろがまの修理をしようとして、当該製品(バーナー)を購入し、他社製の釜に取り付ける際に、空焚き防止装置切断、短絡させる改造施工を行ったことから、当該製品が誤作動を起こし、空焚き状態になったものと判断した。	(株)長府製作所	SB-72	
B1K0800126	2008/04/22	2010/11/5	石油ふろがま(薪兼用)	ふろがまに薪を入れて、当該製品を使用していたところ火災が発生した。その際、家人1名が軽い火傷を負った。焼却口蓋を閉めずに使用していたことから、薪の火が延焼した可能性があり、現在、原因を調査中。	火災	軽傷1名	福島県	調査の結果、当該製品の奥行きよりも長い薪を入れ焼却口の蓋を開けたまま使用していたため、火種が落ちて油送用のゴムホースに引火したものと判断した。	(株)長府製作所	CH2S-2	
B1K0800125	2008/02/27	2010/11/5	石油ストーブ(開放式)	当該機器に点火して現場を離れしばらくすると、異音があったので確認すると、当該機器が燃えていた。現在、原因を調査中。	火災		鹿児島県				
B1K0800124	2008/02/10	2010/11/5	石油ストーブ(半密閉式)	当該機器付近から火災が発生し、家人1名が死亡した。出火元も含め、現在、原因を調査中。	火災	死亡1名	北海道	調査の結果、焼損の状況から当該ストーブ内部からの出火ではなく、可燃物の接触による出火と判断した。	サンポット(株)	KSH-692SC	
B1K0800123	2008/02/10	2010/11/5	ガンリンこんろ	湖上に張られたテント内で倒れている人を発見したが、死亡が確認された。閉めきったテント内で当該製品を使用したため、CO中毒で死亡したと思われるが、現在、原因を調査中。なお、当該製品は、屋外専用であり、テント内での使用を禁止する注意表示が本体等に記載されている。		CO中毒死亡1名	北海道	屋外専用であり、テント内での使用を禁止する注意表示が本体及び取扱説明書に記載されている当該製品をテント内で使用したことにより一酸化炭素中毒に至ったものであると判断した。	コールマンジャパン(株)	508A700J	
B1K0800122	2008/01/23	2010/11/5	石油ファンヒーター	当該製品付近から出火する火災が発生した。現在、原因を調査中。	火災		神奈川県	調査の結果、当該製品の消火を確認せず給油し、戻そうとした際に、給油タンクのネジ式キャップが完全に締まっていなかったため、灯油がこぼれてかかり、火災に至ったものと判断した。なお、取扱説明書には、給油時消火の注意表示が記載されている。			
B1K0800121	2008/02/11	2010/11/5	石油ストーブ(開放式)	山小屋の宿泊客がめまいや吐き気の症状を訴え、15名が病院へ搬送された。当該製品が2台設置されていた。積雪により窓が開かず、十分な換気ができていなかった可能性もあり、現在、原因を調査中。	無	CO中毒軽傷15名	長野県	調査の結果、製品の排出ガス量、燃焼状態に異常は見られなかった。製品に問題が見られなかったことから、製品に起因する事故ではないと判断した。	(株)トヨミ	KS-67A	中毒の程度については不明のため、軽症としている。 B1K0800075とB1K0800121は同一事故
B1K0800120	2008/01/22	2010/11/5	石油ファンヒーター	当該機器周辺と台所を焼損する火災が発生し、家人1名が軽い火傷を負った。出火元も含め、現在、原因を調査中。	火災	軽傷1名	富山県	調査の結果、被害者が当該製品の点火方法を理解していなかったために、マッチ等で点火しようとして、製品内部の灯油に引火し火災に至ったものと判断した。			
B1K0800119	2008/01/04	2010/11/5	石油ストーブ(開放式)	当該製品が火元と思われる火災が発生した。当該製品を移動中に転倒させた可能性もあり、現在、原因を調査中。	火災	死亡1名	広島県	調査の結果、当該製品に不具合は認められず、使用者がマッチで点火する際に燃焼筒がずれ、異常燃焼となり、当該製品を外に出そうとして転倒させ、可燃物に燃え移った事故と判断した。			
B1K0800118	2008/12/12	2010/11/5	石油温風暖房機(密閉式)	作業者が試験室に朝から入り午後2時頃体調不良となる。暖房機の置台に灯油が溜まっていた。機器からの排気漏れなど一酸化炭素中毒の要因となるものは認められず、当該機器が起因しているとは考えられない。	なし	CO中毒の疑い	北海道	調査の結果、 ○当該製品からは、一酸化炭素の発生が認められなかったこと、 ○灯油臭については、熱交換器の煤詰まりによる燃焼不良の結果として燃焼室内に灯油が溜まったものと推定されるが、一酸化炭素との因果関係はないこと、から、 ●燃焼室内に溜まった未燃灯油が置き台に漏れて、漏れた灯油の臭いで気分が悪くなったものと推定。	(株)長府製作所	BH-4720G	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0800117	2008/12/30	2010/11/5	石油ストーブ(開放式)	火災が発生し、火元付近に当該製品があった。	家屋焼損	なし	富山県	調査の結果、 ○当該製品は焼損及び変形が著しいが、燃焼筒に異常燃焼の痕跡がなかったこと、 ○芯調節つまみ及び点火芯は消火時の位置にあったこと、から、 ●当該製品からの出火ではなく外部からの延焼により焼損したものと推定。	(株)トヨミ	RC-309S	
B1K0800116	2008/12/29	2010/11/5	石油給湯機付ふろがま	当該機器の排気口から炎が立ち上ったため、消火した。手入れ不足によって何度も着火不良が発生し、サイレンサー及び排気筒内に未燃灯油が溜まり、着火時の炎が溜まった未燃灯油に引火して火災に至ったものと推定。	火災		茨城県	調査の結果、 ○排気口に煤の付着、排気筒内部に過熱痕跡があったことから、 ●手入れ不足によって何度も着火不良が発生し、サイレンサー及び排気筒内に未燃灯油が溜まり、着火時の炎が溜まった未燃灯油に引火して火災に至ったものと推定。	(株)コロナ	UKB-3320TX(M)	
B1K0800115	2008/12/16	2010/11/5	石油給湯機	ブレーカーが落ち、再度スイッチを入れたがまた落ちた為、機器を見ると火が出ていた。腐食と錆で穴だらけの燃焼室及び底板から、燃焼ガスや未燃油が底板下部に流れ込んで引火したものと判断する。	機器焼損、設置部屋のコンクリート壁に煤付着	なし	宮崎県	調査の結果、 ○長期間(27年)使用により、目視で容易に確認できるほどに燃焼室底部が著しく腐食して穴が生じていたことから、 ●その状態で使用を続けたため、腐食穴から高温の燃焼ガスが漏洩して火災に至ったものと推定。	(株)長府製作所	IB-3SM	製造から25年以上経過した製品
B1K0800114	2008/12/08	2010/11/5	石油ストーブ(FF密閉式)	温風吹き出し口から炎が見えた	器具焼損	なし	山形県	調査の結果、 ○使用者が給排気筒を数年前から雪囲いで囲っており正常な排気が行われにくい状態であったこと ○それに加え当該製品が長期間(約17年)使用されており、熱交換器内部に多量の煤が付着していたこと、から、 ●不完全燃焼による爆発着火を繰り返していたためパッキンが欠損し、点火時に未燃灯油に爆発着火した際にパッキンの隙間から炎があふれて、火災に至ったものと推定。	松山下設機器(株)(現パナソニック(株))	OK-902B	経済産業省データは「石油温風暖房機(密閉式)」と記載
B1K0800113	2008/10/29	2010/11/5	石油ストーブ(開放式)	倉庫で火災が発生した。出火元付近に当該製品があった。	神社焼損	なし	福島県	調査の結果、 ○当該製品は出火時に使用されていなかったことが確認されこと、 ○当該製品からの出火が認められないことから、 ●当該製品からの出火ではないと推定。			
B1K0800112	2008/11/08	2010/11/5	石油給湯機付ふろがま	不着火で使用できずにいたが、1週間前からまた使い始めた。当日朝運転しその後は使用せず、夕方出火。缶体とバーナー間に生じた隙間より熱気が漏れ灯油のしみ込んだパッキンに引火したか、或いは電源コードのショートにより発火したものと推定する。	給湯側バーナーの電源コードと外装の一部が焼損	なし	岩手県	調査の結果、 ○長期間(23年)の使用によってふろがま機能が事故発生日の1ヶ月前から点火していなかったこと、 ○給湯機能も1週間前から点火しにくくなっていったこと等機器の調子が悪いことを知りつつ使用していたことから、 ●長期間使用によって缶体とバーナーの間に生じた隙間から熱気が漏れて、バーナーロパッキンに引火したか、電源コードが発火しパッキンに延焼したものと推定。	(株)長府製作所	J-IBダイヤル付	製造から20年以上経過した製品
B1K0800111	2008/12/24	2010/06/18	石油ふろがま用バーナー(薪兼用)	空焚き防止装置を備えていない当該製品を、浴槽に水を張らずに運転したところ、空焚きとなった。	機器焼損、ビニールパイプ等焼損	なし	岩手県	調査の結果、空焚き防止装置の付いていない当該製品に水を張らずにバーナーのスイッチを入れたまま放置したため、空焚き状態となったものと判断した。なお、当該製品は、約26年前に製造されたものである。	(株)長府製作所	BM-7H	製造から25年以上経過した製品

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0800110	2008/11/16	2010/03/17	石油ストーブ(開放式)	当該製品を不安定な場所に置いて使用したところ、しばらくするとストーブが倒れており、周辺が焼損していた。	器具および周辺焼損	無	岩手県	調査の結果、当該製品は、対震自動消火装置が針金で固定され作動しなくされていた。当該製品を不安定な場所で使用し、その場から離れていたため、当該製品が転倒し、火災に至ったものと判断した。	日立熱器具(株)(現日立アプライアンス(株))	OVH-21C	
B1K0800109	2008/11/05	2010/03/16	石油ストーブ(開放式)	当該製品に給油タンクを設置しようとしたときに炎が上がった。	火災	軽傷1名	北海道	調査の結果、当該製品の消火をせずに給油を行い、タンクを戻そうとした際に、給油タンクの給油口に異物が挟まっていたため、灯油がたれて製品にかかり、火災に至ったものと判断した。	(株)コロナ	SX-E351WY	調査の結果、当該製品の消火をせずに給油を行い、タンクを戻そうとした際に、給油タンクの給油口に異物が挟まっていたため、灯油がたれて製品にかかり、火災に至ったものと判断した。
B1K0800108	2008/03/12	2010/03/16	石油ストーブ(開放式)	家屋を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。当該製品の給油タンクに給油後、給油口の口金キャップを良く締めなかった可能性がある。	火災	軽傷1名	岩手県	調査の結果、当該製品の消火をせずに給油し、タンクを戻そうとした際に、給油タンクのネジ式キャップがきちんと締まっていなかったため脱落して、灯油がこぼれて製品にかかり、火災に至ったものと判断した。	(株)コロナ	不明	調査の結果、当該製品の消火をせずに給油し、タンクを戻そうとした際に、給油タンクのネジ式キャップがきちんと締まっていなかったため脱落して、灯油がこぼれて製品にかかり、火災に至ったものと判断した。
B1K0800107	2008/03/22	2010/03/16	石油ファンヒーター	当該製品のスイッチを入れ、暫くして製品の前後から黒煙が発生。その後、製品内部に炎が見えた為スイッチを切ったが、燃焼用の空気吸入口から炎が吹き出した。	火災	無	秋田県	調査の結果、当該機器の内部に糖分を含んだ液体をこぼしたまま放置していたため、液体が燃焼室等に固着し、点火スイッチを入れた際、バーナーの炎で液体の固着物が燃えたものと判断した。	(株)コロナ	FH-323DXD	調査の結果、当該機器の内部に糖分を含んだ液体をこぼしたまま放置していたため、液体が燃焼室等に固着し、点火スイッチを入れた際、バーナーの炎で液体の固着物が燃えたものと判断した。
B1K0800106	2008/11/13	2010/02/12	石油ファンヒーター	火災が発生した。火災現場に当該製品があり、出火元も含め、現在、原因を調査中。	火災	無	山形県	調査の結果、当該製品を使用中に、当該製品の前方に誤ってカセットこんろ用ガスボンベを置き、爆発したものと判断した。	ダイニチ工業(株)	FW-451L	
B1K0800105	2008/12/07	2010/02/12	石油給湯機	前日に警報(炎検出器異常検知)が発生。その後、通常に作動。翌日の夜、入浴時に警報(温度ヒューズ断線)が出た。臭いがするという事で外に出ると給湯機の異常に気づいた。	機器焼損	無	宮崎県	調査の結果、たびたび故障のエラー表示が出ていた当該製品をそのまま使い、リセットと点火操作を繰り返したことから、製品内部に未燃灯油が溜まり、発火したものと判断した。	(株)長府製作所	IBF-423DS	たびたび故障のエラー表示が出ていた当該製品をそのまま使い、リセットと点火操作を繰り返したことから、不着火によって消音筒に溜まった灯油に引火し、熱交換器内が過熱、沸騰し、給水配管の塩ビ管が破裂したため、空焚き状態となり、消音筒上部の熱交換器が過熱した。
B1K0800104	2008/10/02	2010/02/12	石油ふろがま(薪兼用)	当該製品を使用中に出火した。	機器焼損	無	香川県	調査の結果、当該製品に発火の痕跡は認められなかった。周辺に散在していた可燃物に、当該製品のバーナー等の熱の影響で着火したものと判断した。	(株)長府製作所	GH2S-2	当該製品に発火の痕跡は認められなかった。周辺に散在していた可燃物に、当該製品のバーナー等の熱の影響で着火したものと判断した。(以上、消防からの情報)
B1K0800103	2008/03/09	2010/02/12	石油ふろがま(薪兼用)	離れの風呂場より出火した。	5棟312㎡全焼	無	福島県	調査の結果、当該製品及びバーナーに異常は認められなかった。当該製品の煙突は使用者が設置したもので、使用者が掃除をした際に、接続部に隙間が生じ、排気の熱により付近の屋根板が発火したものと判断した。	(株)長府製作所	LHS	煙突は使用者が設置。使用者が掃除をした際に隙間が生じ、(接続部が変形し、きつくて深く差し込まれてなかった)木造の下屋野地板に熱が伝わり出火したものと判断した。(以上、消防からの情報)

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0800102	2008/10/27	2010/02/02	石油こんろ	10月27日午後7時55分頃、台所より出火。置台を使用せず、玄関マットのようなものを2つ折りにしてその上に石油こんろを載せて1時間ほど燃焼させていた。火災報知器が作動して本体から1m程立炎しているのに気づき玄関マットごと移動させようとした際に石油こんろが転がり本人が火傷、床等が一部焼損する。	有	無	山形県	調査の結果、本体と置き台の間から空気を吸入する自然給吸気式の当該製品に置き台を使用せず、本体を直接マットの上に置いて使用していたため、空気不足で異常燃焼したものと判断した。なお、取扱説明書に、同梱の置き台を必ず取り付けて使用する旨、記載されている。	(株)トヨミ	K-3F	
B1K0800101	2008/12/24	2010/02/02	石油ファンヒーター	住宅が全焼する火災が発生し、火災現場に当該製品があった。調査の結果、当該製品の残存部品に出火の痕跡は認められなかった。また、同等品による再現試験から焼失していた電装部品等から延焼することはないと考えられ、外部から類焼したものと判断された。	住宅全焼	詳細不明	香川県				
B1K0800100	2008/12/21	2010/01/28	石油給湯機(屋外式)	警告表示があったがそのまま使用を続けたため気化した灯油に着火して爆発音と排気トップより出火。油タンク内の灯油もヘッドロ状となっていた。	無	無	山口県	調査の結果は、長期間使用していた当該製品のメンテナンス不足によりタンク内の灯油がヘッドロ状になっていた。たびたび点火不良が生じ、警告表示が出ていたにも関わらず、そのまま使用を続けたため、気化した灯油に爆発着火したものと判断した。	長州産業(株)	JXD-361GT	製造から20年以上経過した製品
B1K0800099	2008/05/17	2010/01/28	石油ふろがま(薪兼用)	当該製品及びその周囲は焼損無し。めがね石の隙間から煙突の熱が伝わり、上部の壁の木材に低温着火して火災発生。	母屋全焼	無	宮城県	調査の結果、当該製品及び製品の周囲は焼損しておらず、製品に異常は認められなかった。表裏に2枚重ねた形で設置されていためがね石の隙間から煙突の熱が伝わり、上部の壁の木材に低温着火したものと判断した。	長州産業(株)	MSH-2C	
B1K0800098	2008/12/15	2010/01/08	石油ストーブ(開放式)	当該製品周辺を焼損する火災が発生し、1名が煙を吸って軽傷を負った。	火災	軽傷1名(やけど)	岩手県	調査の結果、当該製品に出火に至る異常は認められず、使用中に当該製品をいりりの中に転倒させたため、こぼれた灯油に引火したものと判断した。	(株)コロナ	SL-111	
B1K0800097	2008/11/14	2010/01/08	石油ストーブ	当該製品に点火してしばらくすると、燃焼筒から異常燃焼して、炎が上がったので水を掛けて下火になったので、当該製品の燃焼筒のみ持って外に出したが、部屋に戻ると当該製品から火が出て周囲が焼損した。	火災	軽傷1名(やけど)	広島県	調査の結果、当該製品は自動点火装置が故障していたので手動で点火しており、その際に燃焼筒を正しく置かなかつたため、異常燃焼を起こしたものと判断した。	(株)コロナ	SX-1820	
B1K0800096	2008/11/17	2010/01/08	石油ストーブ(開放式)	火災が発生し、1名が軽い火傷を負った。発見当時、給油タンクが当該製品から外れていた。	火災	軽傷1名(やけど)	広島県	調査の結果、当該製品の消火をせずに給油タンクを抜き取り、当該製品のそばで給油を行った際に誤ってこぼした灯油が当該製品にかかり、火災に至ったものと判断した。	(株)コロナ	RX-221	調査の結果、当該製品の消火をせずに給油タンクを抜き取り、当該製品のそばで給油を行った際に誤ってこぼした灯油が当該製品にかかり、火災に至ったものと判断した。
B1K0800095	2008/04/08	2010/01/08	石油ストーブ(開放式)	火災が発生し、家人1名が死亡した。当該製品設置場所付近が良く燃えていた。	火災	死亡1名	山形県	調査の結果、当該製品の燃焼筒を逆さまに取り付けていたため、異常燃焼し、火災に至ったものと判断した。	(株)コロナ	SX-E24Y	調査の結果、当該製品の燃焼筒を逆さまに取り付けていたため、異常燃焼し、火災に至ったものと判断した。
B1K0800094	2008/02/16	2010/01/08	石油ファンヒーター	住宅が全焼する火災が発生した。出火元付近に当該製品があった。	火災	無	群馬県	調査の結果、火災発生時に当該製品は使用されておらず、バーナー部に異常燃焼の痕跡は認められないことから、外部から焼損したものと判断した。	(株)コロナ	GT-324Y	
B1K0800093	2008/12/14	2010/01/08	石油ファンヒーター	当該機器を使用中に男児が機器裏面の空気取り入れ口に接触したと思われる火傷を負った。	無	重傷1名(やけど)	和歌山県	調査の結果、当該製品の燃焼中及び耐震消火装置が作動した際の空気取り入れ口の金属製網の表面温度は、火傷に至る温度にはならなかった。燃焼状態で、プラグを抜いた場合、当該網の温度は火傷に至る温度に達することから、使用中にプラグが抜け、その直後に当該網の部分に接触したものと判断した。	三菱電機(株)	KD-SX32C	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0800092	2008/04/22	2010/01/08	石油ふろがま(薪兼用)	タイマー設定を10分とし正常に燃焼していることを確認してその場を離れた後出火。焼却口蓋が開いたまま長い薪を入れたため、火がこぼれて送油ゴムホースを焼き、漏れた灯油に引火したものと推定する。	木造2階建ての屋根や風呂場部分焼損	軽傷1名(やけど)	福島県	調査の結果、当該製品の奥行きよりも長い薪を入れ焼却口の蓋を開けたまま使用していたため、火種が落ちて油送用のゴムホースに引火したものと判断した。	(株)長府製作所	CH2S-2	
B1K0800091	2008/11/05	2010/01/08	石油ふろがま(薪兼用)	前日に薪で追焚きした。翌日昼頃、ふろがまの焚口から火が出ているのに気づいた。煙突設置が悪く、バーナー内部にタールが付着。基板の絶縁低下と空だき防止装置の改造(直結)が原因と判断する。	缶体だけが焼損し、周囲のモルタル壁が煤けた。	無	大分県				
B1K0800090	2008/11/24	2010/01/08	石油ファンヒーター	当該製品の運転を開始してしばらくすると、気分が悪くなった。室内で異臭を感じた。	無	軽傷1名(CO中毒)	山梨県	調査の結果、当該製品に異常燃焼した形跡は認められず、煤の付着もなく、吸気不足状態を含む燃焼試験の結果は、CO濃度に異常はなかった。	東芝ホームテクノ(株)	KSG250H	
B1K0800089	2008/02/18	2010/01/08	石油ストーブ(開放式)	2/18, 12時30分頃石油ストーブに点火し、火力調節をして13時15分頃外出した。いわき消防署が13時44分火災として通報をうける。	有り	無	福島県	調査の結果、使用中の当該製品の上方に干していた洗濯物が当該製品の上に落下して、発火したものと判断した。	(株)トヨミ	RS-L27	
B1K0800088	2008/12/02	2010/01/08	石油給湯機(屋外式)	組立浴槽に入浴中の入浴者が足に火傷を負った。	無	軽傷1名(やけど)	石川県	火傷の程度は、軽傷であることが確認されたため、重大製品事故でないことが確認された。(非重大事故として、NITEで調査)			
B1K0800087	2008/07/09	2009/08/17	油だき温水ボイラ	朝シャワーを浴びる為スイッチを入れた。エラーが出たので3回リモコンをON, OFFした。テレビが消えブレーカーが落ち、家人が煙が出ているのを発見し消防署に電話した。排気筒設置不備や長期の換気扇連続運転で点火用電極とエレクトロード接続部のカバー部に付着した水蒸気による絶縁破壊、過熱防止器のコードの劣化(熱変形)、コントロール基板取付板の異常腐食などが発生し、発火要因となった可能性がある。	器具内部焼損	無	富山県	調査の結果、当該製品はボイラー室に設置されており、ドアの給気口が掃除不足でホコリ等によりふさがれ、給気が不十分な状態であった。さらにボイラー室内の湿気を取るために当該製品を使用中に誤って換気扇を回した(排気)ため、当該製品の高温の排気が逆流して燃焼バランスが崩れ、燃焼室付近で発火したものと判断した。	(株)長府製作所	PG-501S	
B1K0800086	2008/02/07	2009/08/17	石油給湯機	朝、ボイラを使用後白い煙がボイラより出ているのでボイラのスイッチを切り消防へ通報。運転スイッチでの入切は正常に機能し、バーナーの燃焼も正常であるため、機器が過熱されるような要因は見受けられなかった。機器の状況などからの推測になるが、煙管の膨れによる排気抵抗の増大により燃焼不良となり、未燃灯油が生じて油が溜まった可能性があり、この溜まった油が、ボイラ使用後も燃え続けていたために缶体が過熱されたことなどが考えられるが特定はできなかった。	安全弁保温材とキャンバステープ溶解、そばに干してあった手拭が焦げる。	無	茨城県				
B1K0800085	2008/11/17	2009/08/17	石油給湯機	火災が発生し現場に当該品があった。調査の結果、当該品の外装板の焼損が、内側より外側が著しかったことから、外部から類焼したものと判断された。	家屋全焼	無	長野県	調査の結果、当該製品の外装板の焼損が内側より外側が著しかったことから、外部から焼損したものと判断した。	シャープ(株)	HT-342BU	
B1K0800084	2008/12/25	2009/08/12	石油ファンヒーター	当該製品にガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至った。	器具焼損	手に軽い火傷	静岡県	当該製品にガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至ったものと判断した。			
B1K0800083	2008/12/09	2009/08/12	石油ストーブ(開放式)	給油して本体にタンクを戻すときにロ金キャップのネジが緩かったため油がこぼれて炎が立ち上がった	ボヤ	無	東京都	当該製品を消火しないで給油しようとした際に、給油タンクのロ金が確実に締まっていなかったために、給油タンクを戻す際に油がこぼれて炎が上がったものと判断した。なお、取扱説明書に、給油時に消火する旨の注意事項が記載されている。			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0800082	2008/11/29	2009/08/12	石油ストーブ(開放式)	ガソリンの誤使用による発火事故	家屋を全焼	火傷等	千葉県	当該製品にガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至ったものと判断した。			
B1K0800081	2008/11/17	2009/08/12	石油ストーブ(開放式)	火災が発生し、1名が死亡した。当該製品にガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至ったためと考えられる。	家屋半焼	1名死亡	愛知県	当該製品にガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至ったものと判断した。			
B1K0800080	2008/10/11	2009/08/12	石油ふろがま用バーナー	空焚き防止装置のないふろがまで、浴槽に水を入れずに点火して空焚きとなった。	機器焼損及び家屋の内壁0.4㎡を焦がす	無	山形県	空焚き防止装置がついていない当該製品で、浴槽の水を張らずに点火したことによるものと判断した。			METI発表では「石油ふろがま」と表記。
B1K0800079	2008/03/19	2009/08/12	石油ストーブ	当該製品を使用中に、製品下部から出火した。その際、左足に軽い火傷を負った。	家屋焼損 器具焼損	左足に軽い火傷	兵庫県				
B1K0800078	2008/02/28	2009/08/12	石油ストーブ(開放式)	当該製品を使用中に、消火せずに給油を行い、燃料タンクを本体に戻そうとしたところ、灯油がこぼれて引火する火災が発生した。	家屋焼損 器具焼損	無	群馬県	調査の結果、当該製品の消火を確認せず給油し、戻そうとした際に、給油タンクのネジ式キャップが完全に締まっていなかったため、灯油がこぼれかかり、火災に至ったものと判断した。なお、取扱説明書には、給油時消火の警告表示が記載されている。			
B1K0800077	2008/02/24	2009/08/12	石油給湯機付ふろがま	台所で食器を洗い終えたあと、窓の外が明るくなっていることに気付く火災と判断し消防へ通報した。屋外設置の製品が物置内に設置されていた。当該製品を波板で囲む設置状態だったため、換気状態の悪化により不完全燃焼による着火不良が発生し、製品下部に燃料が溜まり、引火したと判断した。	機器内部焼損	無	神奈川県	調査の結果、当該製品を波板で囲む設置状態だったため、換気状態の悪化により不完全燃焼による着火不良が発生し、製品下部に燃料が溜まり、引火した事故と判断した。なお、取扱説明書には、機器の周囲を波板で囲わない旨の注意表示が記載されている。			
B1K0800076	2008/02/22	2009/08/12	石油ストーブ(開放式)	給油タンクをセットしようとした所、給油タンクから灯油がこぼれて引火して火災になった。給油タンクのキャップの閉め方が不十分で灯油が漏れた	家屋を全焼	火傷等	千葉県	調査の結果、当該製品の消火を確認せず給油しようとした際に、給油タンクのネジ式キャップが完全に締まっていなかったため、当該製品にセットする際に給油口から灯油がこぼれてかかり、火災に至ったものと判断した。なお、取扱説明書に、給油時に消火する旨の注意事項が記載されている。	(株)コロナ	SX-24	
B1K0800075	2008/02/11	2009/08/12	石油ストーブ(開放式)	宿泊客がめまいや吐き気の症状訴えた	無	CO中毒軽傷15名	長野県	調査の結果、製品の排出ガス量、燃焼状態に異常は見られなかった。製品に問題が見られなかったことから、製品に起因する事故ではないと判断した。	(株)コロナ	SL-221	中毒の程度については不明のため、軽症としている。 B1K0800075とB1K0800121は同一事故
B1K0800074	2008/01/31	2009/08/12	石油ストーブ(開放式)	家屋が全焼する火災が発生し、2名が軽傷を負った。火災現場に当該製品があった。	家屋全焼	軽傷2名	福岡県	調査の結果、当該製品の消火を確認せず給油し、戻そうとした際に、給油タンクのネジ式キャップが完全に締まっていなかったため、灯油がこぼれてかかり、火災に至ったものと判断した。			
B1K0800073	2008/01/03	2009/08/12	石油ふろがま(薪兼用)	AM4時頃入浴し、8時30頃ブレーカーが作動したので、ふろがまの方を見にいくと、ふろがま手前の床面から火が出ている。鎮火後、焚き口の蓋は開いており、燃え残りの薪がふろがまよりはみ出していた。	木造2階建て部分焼(ふろがま設置場所)の周辺が焼損	無	福島県	調査の結果、ふろがまに入れた薪がはみ出していたため、火のついた薪が焚き口から落ちて近くの可燃物に燃え移り火災に至ったものと判断した。なお、取扱説明書に、近くに可燃物を置いたり、焼却口が閉められないような長い薪を使用しない旨の注意事項が記載されている。	(株)長府製作所	CHS	当該機器から出火した形跡は見受けられなかった。
B1K0800072	2008/04/01	2009/08/12	石油ファンヒーター	当該製品が設置されていた部屋から出火する火災が発生。当該製品は使用者により廃棄されたものであり、機器の焼損が激しく出火原因の特定に至らず、当該製品に起因して生じた事故かどうか不明と判断。	火災	無	北海道				

※1 A2: 重大製品事故以外の製品事故

※2 B1: 「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2: 「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0800071	2008/10/31	2009/08/12	石油ストーブ	物置で使用した後、しばらくして火災が発生した。	火災	無	香川県	調査の結果、消火ボタン及び芯調整つまみが故障している当該製品を使用し、ステンレス製のポウルを被せて消火しようとしたところ、火が消えなかったため、異常燃焼し、火災に至ったものと判断した。	(株)コロナ	SX-B220	消火ボタン及び芯調整つまみが故障したまま使用し、ステンレス製のポウルを被せて消火しようとしたところ火が消えなかったため、異常燃焼し火災に至った
B1K0800070	2008/11/10	2009/08/12	石油ストーブ(開放式)	燃焼したまま水平に持って3m移動しておいてから、しばらくすると、「ボン」と音がして炎が上がりカーテン等が損傷した。	火災	軽傷1名	東京都	調査の結果、当該製品にガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至ったものと判断した。	(株)コロナ	SX-D27WY	ガソリンを誤給油
B1K0800069	2008/10/30	2009/08/12	石油ストーブ	自動点火装置が使えなかった為ライターで点火したところ、数分後に機器周辺が炎に包まれた。	器具焼損	軽傷1名	新潟県	調査の結果、炎が大きくなりづらかったため当該製品の固定タンクの清掃を行おうと、当該製品を倒すように傾けたため固定タンクから本体内部や周囲に灯油をこぼしたことに気づかず、点火を行ったことから、こぼれた灯油に引火したものと判断した。	(株)コロナ	SX-E270WY	炎が大きくなりづらかったため機器の固定タンクの清掃を行おうと、傾けたため固定タンクから本体内部や周囲に灯油をこぼしたことに気づかず点火を行ったことによ
B1K0800068	2008/02/24	2009/08/10	石油ストーブ(密閉式)	運転中に背面の排気筒延長部に巻きつけられている断熱クロスから発煙、発火した	火災	無	北海道	調査の結果、壁のすぐそばに給排気口が設置されていたため、換気状態の悪化により、不完全燃焼が起こり、製品内熱交換器に煤が付着した。そのため熱交換効率が低下し、高熱の排気ガスが排気筒内に流れ出たため、排気筒に巻いていた断熱クロスが発煙、発火したものであり、設置上の問題と判断した。			
B1K0800067	2008/12/13	2009/08/10	石油ストーブ	1Fにある六畳ほどのロウカームで使用、点火後2Fの事務所で臭う為、見に行ったところ本体のつまみの奥から火が出ていて、部屋が黒煙で黒くなっていた。	器具焼損	無	愛知県				
B1K0800066	2008/12/25	2009/08/07	石油ストーブ	アパート一室焼損の火災現場に当該製品があった。	集合住宅一室焼損	軽傷3名	神奈川県				
B1K0800065	2008/03/13	2009/08/07	石油ストーブ(開放式)	当該製品を使用中、爆発音がして、製品下部から出火した。その際、家人1名が火傷を負った。調査の結果、消費者が給油タンクにガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至ったものと判断。	絨毯、床が少し焦げた。	有(火傷)	埼玉県	調査の結果、消費者が給油タンクにガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至ったものと判断した。	東芝ホームテクノ(株)	OVH-L23 (日立ホームテック(株)ブランド)	
B2K0800064	2008/12/26	2009/02/06	石油ストーブ(密閉式)	ストーブ内部の一部が焼損した。現在調査中。	内部一部焼損	無	岐阜県				
B1K0800063	2008/05/03	2009/01/09	石油ふろがま(薪兼用)	釜に薪を入れて、タイマーで5分ほど着火運転した。30分後に通行人より火が出ていると連絡あり。左右各1個のバーナー吊り金具が片方しかなく、缶体とバーナーが密着せずに隙間が開いていた。非常に多くの薪が入ったことで、噴霧された灯油が薪に遮断されて、バーナー口から引火した状態で逆流して滴下し、下にあったゴムホースやバーナー口蓋等に溜まっていた灯油に引火して事故に至ったと判断した。	バーナー部焼損、壁と上部ビニール波板の一部焦げ	無	岐阜県	調査の結果、当該製品の取付けを消費者自身が行っており、バーナー口が適切な設置がされていなかったことから、火災に至ったものであり、製品に起因する事故ではないと判断した。	(株)長府製作所	CHS-2	調査の結果、当該製品の取付けを消費者自身が行っており、バーナーが適切な設置がされていなかったことから、火災に至ったものであり、製品に起因する事故ではないと判断した
B1K0800062	2008/04/04	2009/01/09	石油ストーブ(開放式)	*台所でストーブを使用中、異臭に気づき確認すると、ストーブから火が出ていたため消火した。 *調査の結果、ストーブからの出火の痕跡が認められず、焼損状況も内部からの発火によるものではないことから、製品からの出火でなく、製品に起因しない事故と判断。	食器棚の角や樹脂製のかご、床などの一部が焦げた	無	埼玉県	調査の結果、事故品の内部から出火した痕跡が認められず、キャビネット内側より外側の焼損が著しいことから、当該製品からの出火ではなく、製品に起因しない事故と判断した。	(株)コロナ	RX-221	
A2K0800061	2008/12/28	2009/01/09	石油給湯機付ふろがま(屋外式)	器具内部焼損	器具内焼損	無	兵庫県				リコール品 (2002/10/24)

※1 A2: 重大製品事故以外の製品事故

※2 B1: 「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2: 「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
A2K0800060	2008/10/23	2009/01/09	石油給湯機(屋外式)	家人がお湯を使用していた時に給湯器の下部から煙と火が見えた。家人が水を掛けて電気のコンセントを抜いた。	拡大被害無	無	石川県				
A2K0800059	2008/12/18	2009/01/06	石油給湯機(屋外式)	給湯使用中に外で煙が出ていたのが見えたため、当該機器を確認すると焼損していた。	製品被害有	無	富山県		東陶プロ機器(株) (TOTO(株)販売)	RPE32KAS S	リコール品 (2002/10/24)
B1K0800058	2008/02/	2009/01/06	石油ファンヒーター	ファンヒーター前30～40cmの所で寝ていて左手に火傷。	無	左手に火傷	大阪府	当該製品の温風吹出口の前で寝込んだために、温風により火傷したもので、当該製品本体及び取扱説明書には、寝るときは消火すること、温風吹出口での火傷に関する警告表示があることから、製品に起因する事故ではないと判断した。			
A2K0800057	2008/12/03	2008/12/22	石油温水機(FF式)	燃焼ガスによる事故	無	有	北海道				
A2K0800056	2008/12/11	2008/12/16	石油給湯機(屋外式)	家人が偶然屋外に出たところボイラーから煙が出ているのを発見した。器具内部焼損で拡大被害は無し。	拡大被害無	無	富山県				リコール品 (2002/10/24)
A2K0800055	2008/12/06	2008/12/16	石油給湯機(屋外式)	お湯を使用時に給湯器から煙と火が出てきた。器具の内部が焼損した。	拡大被害無	無	福岡県				リコール品 (2002/10/24)
B1K0800054	2008/11/19	2008/12/11	石油ストーブ(開放式)	当該機器が発火した。当該製品にガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至ったためと考えられる。	周辺煤け	無	神奈川県	当該製品にガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至ったものと判断した。			
B1K0800053	2008/11/12	2008/12/11	石油ストーブ(開放式)	畳の一部を焼損する火災が発生した。当該製品の給油タンクの口金が外れ、本体内に脱落していたことから、灯油漏れによって、火災が発生したものと考えられる。	畳の一部焼損	無	大阪府	当該製品を消火しないで給油しようとして給油タンクを本体から引き抜いた際に、給油タンクの口金が確実に締まっていなかったために、本体の給油タンク内に口金が脱落し灯油が漏れたものと判断した。なお、取扱説明書に、給油時に消火する旨の注意事項が記載されている。			
B2K0800052	2008/10/14	2008/12/01	石油ファンヒーター	家庭用石油ファンヒーターが勝手に点火するようになった。	無	無	福島県				
A2K0800051	2008/11/10	2008/11/26	石油給湯機(屋外式)	器具内部焼損	拡大被害無	無	福岡県				リコール品 (2002/10/24)
A2K0800050	2008/11/09	2008/11/26	石油給湯機(屋外式)	器具内部焼損	拡大無	無	茨城県		ノーリツ(株)	OQB-302Y	リコール品 (2002/10/24)
A2K0800049	2008/11/05	2008/11/26	石油給湯機付ふろがま(屋外式)	器具内部焼損	拡大有り	無	佐賀県		ノーリツ(株)	OTQ-302Y	リコール品 (2002/10/24)
B2K0800048	2008/11/04	2008/11/17	石油ストーブ(密閉式)	ストーブより未燃灯油臭と思われる臭気発生、夫婦共具合悪くなり病院に行った。室内に一酸化炭素は検出されなかった。現在調査中。	無	有	北海道				
A2K0800047	2008/10/30	2008/11/10	石油給湯機(FE式)	給湯機を使用中に音がしたため、器具を確認すると焼損していた。	製品被害有	無	宮城県		東陶プロ機器(株) (TOTO(株)販売)	RPE32KE	リコール品 (2002/10/24)
B1K0800046	2008/10/16	2008/10/30	焼却兼用ボイラ	ボイラ使用中に、排気筒の穴から炎がでて、ひさしの下側を焦がした。初期段階で消火した。	ひさし下側0.5m2 焼損	無	静岡県				

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B1K0800045	2008/02/22	2008/10/10	石油ふろがま(薪兼用)	午後9時頃薪を入れ、タイムスイッチを10分回した。9時30分頃風呂に入り、その後、別棟に行き就寝した。午後11時頃火災となった。焚口の蓋は空いたままだった。 焚口蓋が開放されていること、燃え残りの薪が残っていること、送油管がゴムホースであることから、薪の燃え残りが焚口から零れ落ちること、周辺の可燃物やゴムホースに接触し、時間をおいて火災となったものと推測する。	全焼	無	愛知県	調査の結果、焼却口が開いた状態で大きな薪が残っていたことから、投入した薪の燃え残りが焼却口から落下して、周辺の可燃物及びゴム送油管に接触し、火災に至ったものと判断した。	(株)長府製作所	CH2S-2	
B1K0800044	2008/01/21	2008/10/10	石油ストーブ(開放式)	当日朝、5:00頃起床、居間に置いてあるストーブに点火、点火後再び床に入り5:12頃異変に気付く、その際燃焼筒の両脇より炎が出ていた。座布団、シーツなどをかぶせて、消火し、台所に移動させたが、再度出火、バケツで水をかけて消火。	無	有	東京都	調査の結果、当該製品の天板に可燃物を置いたまま点火したために、火災に至った事故と判断した。	(株)トヨミ	RS-L27	
B1K0800043	2008/01/30	2008/10/10	石油給湯機(屋外式)	勝手口の網戸、風呂場の網戸約1mを焼損した。	網戸	無	香川県	調査の結果、当該機器は過去に修理実績のある製品であり、修理の不具合によるものと判断した。	三洋電機(株)	HB-RS31A	
B1K0800042	2008/01/23	2008/10/10	石油ファンヒーター	会社事務所内にある椅子の脚付近の床に配置されていた石油ファンヒーターの電源コードより出火し、近傍にあったダンボールへ引火、床と机の一部が焦げた。 当社で調査の結果、外部から電源コードが機械的なストレスを受けたことによるものと判明し、経済産業省の第三者判定委員会においても「製品起因による事故ではない」と判断された。	有	無	岡山県	調査の結果、当該製品の電源コードが椅子等の外的要因により圧力を受けて被覆が損傷し、ショートしたため、近傍のダンボールへ引火したものと判断した。	松下電器産業(株)	OH-32C	
A2K0800041	2008/07/28	2008/09/25	石油給湯機付ふろがま(屋外式)	シャワーを使用中に湯にならなくなりボイラーを見ると排気部から煙が出ていた	機器の部品故障であり物的被害は有りません	無	長野県				リコール品 (2002/10/24)
A2K0800040	2008/06/16	2008/09/04	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時に臭いがするとの修理依頼があり、サービスマンがお客様宅を訪問したところ、自主点検済みの製品から油漏れしていることを確認した。(送油ユニットの油漏れによる自主点検を2003年3月8日に実施済み)	製品被害有	無	山梨県		東陶アップロ機器(株) (TOTO(株)販売)	RPE43KD	リコール品 (2008/09/02)
A2K0800039	2008/05/23	2008/09/04	石油給湯機(屋外式)	追いつき不良が発生しサービスマンがお客様宅を訪問したところ、自主点検済みの製品から油漏れしていることを確認した。(送油ユニットの油漏れによる自主点検を2003年1月21日に実施済み。)	製品被害有	無	岐阜県		東陶アップロ機器(株) (TOTO(株)販売)	RPE43KD	リコール品 (2008/09/02)
A2K0800038	2008/06/18	2008/08/28	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	徳島県		東陶アップロ機器(株) (高木産業(株)販売)	RPH43KB(AS-401RD)	リコール品 (2008/09/02)
A2K0800037	2008/03/26	2008/08/26	石油給湯機付ふろがま(屋内設置式)	お湯使用中に給湯機の異変に気付いた。器具内部焼損していた。	器具内焼損	無	山形県		ノーリツ(株)		リコール品 (2006/12/04)
A2K0800036	2008/07/04	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	埼玉県		東陶アップロ機器(株) (TOTO(株)販売)	RPE43KD	リコール品 (2008/09/02)
A2K0800035	2008/07/01	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	徳島県		東陶アップロ機器(株) (TOTO(株)販売)	RPE33KA	リコール品 (2008/09/02)
A2K0800034	2008/06/25	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	石川県		東陶アップロ機器(株) (TOTO(株)販売)	RPE43KA	リコール品 (2008/09/02)

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
A2K0800033	2008/06/22	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	広島県		東陶upro機器(株) (TOTO(株) 販売)	RPE43KS	リコール品 (2008/09/02)
A2K0800032	2008/06/13	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、リモコンにチェックサインを表示し作動が停止した。	製品被害有	無	石川県		東陶upro機器(株) (TOTO(株) 販売)	RPE33KA	リコール品 (2008/09/02)
A2K0800031	2008/04/20	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	大分県		東陶upro機器(株) (TOTO(株) 販売)	RPH43KS	リコール品 (2008/09/02)
A2K0800030	2008/04/12	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	和歌山県		東陶upro機器(株) (TOTO(株) 販売)	RPH33KS	リコール品 (2008/09/02)
A2K0800029	2008/02/26	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、屋内のブレーカが作動した。	製品被害有	無	茨城県		東陶upro機器(株) (TOTO(株) 販売)	RPE43KS	リコール品 (2008/09/02)
A2K0800028	2008/01/08	2008/08/25	石油給湯機(屋外式)	給湯機を使用している時、全く作動しなくなった。	製品被害有	無	静岡県		東陶upro機器(株) (TOTO(株) 販売)	RPE33K	リコール品 (2008/09/02)
A2K0800027	2008/06/26	2008/07/08	石油給湯機付ふろがま(屋外式)	お湯使用中に給湯器の異変に気付いた。	器具内部焼損	軽症1名	石川県		ノーリツ(株)	OTQ-302Y	リコール品 (2002/10/24)
B1K0800026	2008/03/05	2008/07/01	石油ファンヒーター	一般木造住宅の1階の1室(約3畳)で、ファンヒーターを点火後に異常音が生じ、ストーブの操作部及びテレビ、家具、畳、布団の一部が焦げた。	ストーブの操作部	無	滋賀県	調査の結果、当該製品に異常燃焼した痕跡がなく、内部の電気部品等にも発火の痕跡が認められないことから、製品に起因する事故ではないと判断した。	㈱コロナ	FH-M256Y	
B1K0800025	2008/01/28	2008/07/01	石油ファンヒーター	当該製品をつけて寝ていた。朝方3時過ぎ、臭い煙に気づき起きたら当該製品の後方20cmくらいから炎が上がっていた。	木造平屋建ての家が全焼	無	香川県	調査の結果、当該製品の燃焼室に異常燃焼した痕跡がなく、内部の電気部品等にも発火の痕跡が認められず、外的要因による火災の可能性も考えられることから、製品に起因する事故ではないと判断した。	ダイニチ工業(株)	FA-3030S	
B1K0800024	2008/01/13	2008/07/01	石油ストーブ(開放式)	午前6時半頃起床して台所の石油ストーブに点火。火災報知機が鳴ったので確認するとストーブ周辺が燃えていた。事故品のストーブの中に、油タンクの口金キャップが残っており、タンクはストーブの外にあったことから、ヒューマンエラーが原因と見ている。	1軒全焼	額に軽い火傷	愛知県	ストーブの火を消さず給油を行い、また、カートリッジタンクのふたを閉め忘れたため給油時に灯油がこぼれ、火災に至った事故と思われ、製品には起因しない事故と判断した。	東芝ホームテクノ(株)	KSR-23TD	
B1K0800023	2008/03/27	2008/06/10	石油ストーブ	木造2階建て住宅から出火する火災が発生。当該石油ストーブに不具合は無く、石油ストーブの輻射熱により近傍布製の物に着火したと推定された。	1階の和室2㎡を焼損	有(死亡)	宮城県				
B2K0800022	2008/01/12	2008/06/10	石油ファンヒーター	点火操作したところ、当該品の前後から火が出たように見えた。原因は、変質灯油の使用により、気化器のニードルに多量のタールが付着し、器具内で黄火になったと推定された。加えて、コンセントが抜かれた為、対流ファンが回らず、炎が伸び、前後から油煙(スス)が出たものと見ている。	無	無	京都府				
B1K0800021	2008/03/10	2008/05/22	石油ストーブ(半密閉式)	当該機器周辺の可燃物が倒れ、暖房機と接触し火災が発生した。	火災	無	岩手県	当該機器周辺に置かれた可燃物に引火し火災に至ったものであり、製品に起因する事故ではないと判断した。			

※1 A2: 重大製品事故以外の製品事故

※2 B1: 「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2: 「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害					
B2K0800020	2008/03/09	2008/05/15	石油給湯機付ふろがま(屋外式)	顔を洗おうとして、お湯の蛇口をひねると、大きな爆発音がし湯が出なくなった。外に出て石油給湯機を確認すると、給湯の蛇口をひねる度一瞬着火するが、その後黒い煙が発生し、給湯できない。	無	無	香川県				
B2K0800019	2008/03/03	2008/05/15	石油給湯機付ふろがま(屋外式)	給湯機使用中に黒い煙が出た。	無	無	石川県				
B1K0800018	2008/01/24	2008/04/22	石油ストーブ(開放式)	灯油タンクに給油後、口金の締め付けが十分でなかったため、灯油が漏れて引火した。	有	無	大阪府	口金の締め方が不十分であったため、灯油が漏れ、漏れた灯油に引火した火災事故であるため、使用者の不注意による事故と判断した。			
B1K0800017	2008/01/14	2008/04/18	石油ストーブ(半密閉式)	当該機器前に近接してバスタオルを掛けた状態で、当該機器を点けたまま外出したことから、バスタオルに引火し、火災が発生した。	火災	無	北海道	当該ストーブをつけたまま外出し、前方にかけていたバスタオルに引火したことから、使用者の不注意による事故であると判断した。			
B1K0800016	2008/02/06	2008/04/18	石油ストーブ(密閉式)	消防の見解は、ストーブ上にあった洗濯物がストーブの上に落下し火災となった。	有	有	秋田県				
B2K0800015	2008/03/30	2008/04/14	石油給湯機(焼却兼用)	本体に接続された排気筒に紙が接して燃えて、そばにあったダンボールに燃え移った模様。また、そばにあったコンテナ(野菜を入れる樹脂の箱)も溶けた。ダンボールやコンテナは軒下に置いてあり、範囲は約2㎡程度。本体に被害はない。(以上、消防からの情報)	ダンボールとコンテナ(野菜を入れる箱)を約2㎡焼損	無	京都府				
A2K0800014	2008/01/30	2008/04/02	油(薪)だき温水ポイラ	午前3時30分頃ドーンという大きな音がした。午前4時30分頃水の音がするのでポイラ室を確認すると、ポイラから水が流れ、天井、窓ガラス、ドアのガラスが破損していた。ポイラの外装天板等が飛ばされていた。缶体の内圧が上昇したことによる缶体の破裂と思われるが、圧力安全弁及びその配管類が回収されておらず調査不能。	ポイラの外装天板等が飛ばされ、缶体から水が漏れた。天井、窓ガラス、ドアのガラスが破損	無	岩手県				
B1K0800013	2008/03/16	2008/04/01	石油ふろがま	浴槽に水が入っていると思ってスイッチを入れて、空焚きとなった。2重屋根の間に排気筒の先端が出ていた。	循環パイプ、屋根の一部(煙突貫通部周辺)焼損	無	岐阜県				空焚き防止無し34年前の釜使用
B1K0800012	2008/02/22	2008/04/01	石油ストーブ(開放式)	子どもが給油タンクを入れ替える時、ネジ式の口金が締まっておらず器具の上面に大量の灯油をこぼした。母親が拭き取り後点火したら火が出て、持ち運ぶときにカーテン等に燃え移ったとのこと。	有	無	岡山県	こぼれた灯油を拭き取り切れていない状態で点火したことにより、燃え広がった事故であると思われる。製品起因による事故ではないと判断した。			
B1K0800011	2008/01/17	2008/03/31	石油ファンヒーター	使用中に突然爆発し、何かが飛んで天井を傷つけた。火災や人的被害は無し。事故原因は当該機器が設置されていた部屋におかれていたスプレー缶が過熱して破裂、飛散したと思われる。	天井を傷つけた。製品一部変形	有	富山県	事故原因は、使用者が、当該機器の吹き出し口付近にスプレー缶を置いていたことにより、スプレー缶の過熱から爆発・引火に至ったものと思われる。使用者の不注意による事故と判断した。			
B2K0800010	2008/03/04	2008/03/17	石油ストーブ(密閉式)	積雪による給排気筒の閉塞による不完全燃焼、排気ガスの臭いで気分が悪くなり、救急車を呼び病院に行った。	無	有	北海道				
B2K0800009	2008/02/23	2008/03/17	石油ストーブ(半密閉式)	ストーブを点火操作したが火がつかない為、消火操作後、再度点火操作を行ったら、炎が大きく燃えた為怖くなって消防に連絡した。炎は自然に小さくなったが、消防車が現場到着し待機後消防車は引き上げた。	無	無	北海道				

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	事業社名	機種・型式	備考
					物的被害	人的被害						
B1K0800008	2008/02/22	2008/03/13	石油ふろがま(焼却兼用)	浴槽に水を張り、暫くして風呂釜に薪を入れ、風呂を焚き始めた。近くの畑に行き、約30分後に帰ってみると、ゴムエルボ部分が燃えていた。(缶体、ゴムエルボ、電源コード、タイムスイッチコード焼損)浴槽に水があることを確認せずに薪に火をつけたため、空焚きとなったものと思われる。薪を入れバーナーで着火させようとタイムスイッチを回したが、バーナーが作動せず、他の方法で薪に火をつけたとのこと。タイムスイッチで点火しなかったのは、空焚き防止装置が作動していたものと考えられる。(消防署、警察署ともに	有	無	山口県					
B1K0800007	2008/01/03	2008/03/11	石油ストーブ(開放式)	午前11時頃出火家屋を全焼し、隣家を2軒延焼する。	有	有	滋賀県					
A2K0800006	2008/02/24	2008/03/05	石油給湯機付ふろがま(屋外式)	家人が給湯器から煙が出ていることに気付き水を掛けた	器具内部焼損	無	茨城県					リコール品 (2002/10/24)
B1K0800005	2008/01/26	2008/02/27	石油ストーブ(密閉式)	ストーブ上方に洗濯物をかけ、落ちたものに引火したと考えられる。引火したものがストーブ背面に落ち、ゴム製送油管を溶かし、灯油漏れをおこし引火し壁を焦がした。(部分焼)	壁を焦がした(部分焼)	有 (煙を吸った軽症)	北海道					
B1K0800004	2008/01/26	2008/02/18	石油ストーブ(開放式)	石油ストーブが絡む火災が発生し家屋が全焼。家人が顔に軽い火傷を負ったとのこと。調査を行った消防では、現場で給油タンクの口金が見つかっていないことから、給油タンク口金のねじ込みが不完全で灯油が漏れ火災に至ったもので、使用上の問題であり製品に関係ないとの見解であった。	家屋全焼	有 (詳細不明)	福島県	口金の締め方が不十分であったため、灯油が漏れ、漏れた灯油に引火した火災事故であるため、使用者の不注意による事故と判断した。				
B1K0800003	2008/01/19	2008/01/28	焼却兼用ボイラ	松葉を焼却中に、ボイラ周辺にあったものに引火し、近隣の方が消火した。	ボイラ本体及び周辺3m焼損	無	山口県					
A2K0800002	2008/01/09	2008/01/28	石油給湯機(屋外式)	制御弁から油漏れし器具内部が焼損していると家人が発見し消火した。	器具内焼損	無	茨城県					リコール品 (2002/10/24)
A2K0800001	2008/01/08	2008/01/28	石油給湯機(屋外式)	近隣の方が給湯器の排気部から煙が出ているのを発見し水を掛けて消火した。	器具内焼損	無	茨城県			ノーリツ(株)	OQB-302Y	リコール品 (2002/10/24)

注:

・発生年に合わせ、移動した。(10.09.13)

A2K0400001/A2K0400002/A2K0400003/A2K0400004/

A2K0500001/A2K0500002/A2K0500003/A2K0500004/A2K0500005/A2K0500006/A2K0500007/

A2K0600001/A2K0600002/A2K0600003/A2K0600004/A2K0600005/A2K0600006/A2K0600007/A2K0600008/A2K0600009/A2K0600010/A2K0600011/A2K0600012/A2K0600013/A2K0600014/

A2K0600015/A2K0600016/A2K0600017/A2K0600018/A2K0600019/A2K0600020/A2K0600021/

・過去4年間の経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果等を反映した。また、これに合わせ重複データのチェックを行った(10.11.05)

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故